

洋書輸入協会会報

VOL. 24
NO. 5

(通巻277号) 1990年5月

理事会報告

3月27日(火)

(一) 2月分収支計算・予算対比表

総務委員会における検討にもとづく松井幸雄氏(丸善)の報告を承認した。

(二) 選挙管理委員会

各社の応諾を得られたが、出席する者については、変更、保留のあったことが報告された。

(三) 家賃の値上げ

3月9日家主の野村建設と交渉を行ない、値上げ幅を1万円下げ、家賃1ヵ月22万円で合意したことが報告され、承認された。

(四) 1990年度予算

総務委員会案について報告をうけ、審議した。

(五) AAUP大会

6月に開催されるアメリカ大学出版局協会(American Association of University Presses)の詳細について同協会のマーケティング部副部長ゲイル・A. トレッドウェル氏(ハーバード大学出版局)から小林英一理事長代理に3月23日付けの手紙がとどいたことが報告された。

(六) 会葬のお礼

杉山明氏(日本出版貿易)から3月17日におこなわ

れた同社相談役望月政治氏の告別式について謝辞が述べられた。また同社社長村山俊男氏の近況について報告された。

(七) その他。

4月10日(火)

(一) 3月分および1989年度収支計算・予算対比表

総務委員会における検討にもとづく松井幸雄氏の報告を承認した。

(二) 退会

正会員ノベルティ株式会社(関西支部)を規約第27条2により退会扱いとすることが承認された。

(三) 1990年度予算

総務委員会での検討にもとづいて松井幸雄氏が提案し、討論ののち承認した。

(四) AAUP大会

4月3日付けで小林英一理事長代理から、代表団を派遣できない旨の返事を出したことが報告された。

(五) 事業委員会

委員長前橋康弘氏(中央洋書)から洋書まつりを10月19日(金)、20日の両日開催することが報告された。

(六) 文化厚生委員会

武田全弘氏(三洋出版貿易)から懇親旅行を6月8日(金)、9日(土)箱根において行なうことが報告された。

(七) その他

理事会報告	1	海外ニュース	5	Letters to JBIA その一	6
JBIAアンケート集計結果	2	文化厚生委員会だより		おしらせ	7
洋書輸入協会史(51)	3	第55回72会ゴルフコンペ	5	広 告	8

JBIAアンケート集計結果

JBIAパソコン保有状況アンケート集計結果がまとまりました。

アンケート用紙は1月下旬にJBIA事務局より全会員に郵送し、2月末日を以て締切りました。全会員の40%にあたる44社から得た回答の集計結果を示します。

パソコン利用概況

パソコン保有状況

大部分の会社がパソコンを所有していますが、ワープロ専用機のみ所有している会社もあります。

使用中のパソコン

NECが圧倒的で、39社中の69%が所有しています。以下日本IBM、アップルと続きますが、いずれもNECの約5分の1です。

分類で見ますと、IBM PCと互換機がPS/55等を含めて17社あり、かなり健闘しているといえます。

ハードディスク/適用業務

ハードディスクも多くの会社が導入済みですが、その容量は40MB以下が大多数で、大規模な利用に迄は至っていないようです。

これは適用業務に対する回答にも現われており、文書作成、経理、営業での利用がベスト3となっています。今後のパソコンの多様な活用が望まれます。

JBIAでの機械化に関する最初のアンケートとして、会員の皆様に現況をご確認いただければ幸いです。

また、渉外委員会の今後のセミナー等でも大いに参考にして参りたいと思います。ご協力ありがとうございます。

1990年3月15日

JBIA渉外委員会

委員長 山川隆司 (ユサコ株)

[パソコン保有状況]

Q1 所有 39 未所有 0 ワープロ専用機のみ所有 5

[現在使用中のパソコン]

Q2 メーカー

日本電気 27 エプソン 2 富士通 3 日立 1
東芝 4 日本IBM 6 三菱電機 1 三洋電機 2
沖電機 0 ソニー 2 シャープ 1
その他 12(うちアップル6)

Q3 パソコン分類

日本電気PC9801シリーズ又は、その互換機 27
米国IBM PC/AT又は、その互換機 10
(含AXパソコン、東芝J-3100)
日本IBM PS/55シリーズ又は、
米国IBM PS/2シリーズ 7
その他 12(うちマッキントッシュ6)

[ハードディスク]

Q4 導入

導入済 29 未導入 8
RAMディスク又は、EMSを使用 6

Q5 ハードディスク容量

20MB(メガバイト)以下 17
30MB、40MB 15
50MB以上 5

[パソコン適用業務]

Q6 文書作成(ワープロ) 36

デスクトップパブリッシング(DTP) 5

経理(表計算など) 20

営業(売上分析、売上処理など) 18

通信:出版社との交信 14

(パソコン通信、電子メールなど)

仕入調査 9

(CD-ROM、データベースアクセスなど)

マーケティング 11

展示 7

(各種パソコン関連商品のデモンストレーション)

その他 13

以上

洋書輸入協会史 (51)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

57 海賊版(盗版)問題(第二次)(前号よりの続き)

57.9 Gmelinをはじめとする海賊版の問題が国会文教委員会で取り上げられる(前号よりの続き)

(注) 前号(JBIA会報Vol.24、No.2、1990年2月号所載、協会史No.50参照)においては、昭和32(1957)3月22日の毎日新聞にGmelinなどの海賊版の問題が記事にされ、3月27日の第26回国会、衆議院文教委員会で社会党の高津代議士がこれを取り上げて質問をした。その速記録の最初の部分を掲載しただけで紙数が尽きたので、今回はその続きから始めることとする。この質疑は、国会で洋書や海賊版の問題が取り上げられた最初のことであり、翌年の著作権国内法の改正につながる重要なものであるので、少々長くなるが全文を引用することとする。

○高津委員の質問(前号よりの続き)

私思うのに、日本では外国の著作権をこのように無視することは非常に大きな問題であって、三つの弊害が考えられると思うのであります。

文明諸国の著作家たちが日本を蔑視し、日本に反感を持つことになる。第二には、これは日本の名誉に関する全く国辱的な行為であって、対外信用を低下させるし、むろん外交にも貿易にも響く。第三には、これらの被害国の中には、日本が新刊書を輸入しようとしても、最近その輸出をストップしている国さえ出ている、こういう弊害さえも現われておるのでありまして、これも日本の学術を進める上において非常な弊害であると思います。一部の日本の業者がこのような著作権侵害をしている実情に対し、文部大臣はどのようにお考えでありましょうか。

○灘尾国務大臣 ただいまお述べになりましたような事柄につきましては、私もまことに遺憾なことだと存じております。この問題につきましては、まだ事情を十分につまびらかにしておりませんので、文部省の主管局長からお答えをいたさせます。

○福田政府委員 高津先生のお話の点は、海賊版の問題だと存じますが、これは2、3年前にもいろいろ出ておったように承知しております。もちろん著作権保護の立場から、こういった海賊版の出ますことは非常に困る問題でありまして、私どもとしてはそういった海賊版の出ますことを極力排除していきたい、こういうように考えるのであります。しかしながら一方御承知のように、実情におきましては、非常に原書が高いということも一つの理由でございまして、学界あるいは学校等におきまして、こういった非常に手軽に入ります安い海賊版を利用するというような事柄が終戦後特に行なわれております。こういうことにつきましては、文部省といたしまして、講習会その他機会のありますごとに、海賊版を利用しないように注意をいたしております。

この著作権保護の問題につきまして根本的に法的な措置も相当要るかと存じますがけれども、現状ではそういった法的な問題になるまでに至っておりません。最近におきましては、外国の出版元と日本におきましますところの会社と契約いたしまして、写真版等による非常に廉価な普及版が出つたありますので、こういうものが学術書にだんだん普及して参りますと、今いったような海賊版の横行を防ぎ得るのじゃないか、こういうことを考えております。

私どもといたしましては、できるだけそういった写真版等による廉価な学術書が日本におきまして出版され、普及されることを希望しておるわけでございます。

○高津委員 丸善やその他の、海外洋書輸入同業会なる40数社が集まった団体があって、それから文部省に幾たびも、たとえば去年もことしも陳情しておるというのでありますが、その陳情について実情を調査になったのでしょうか。

○福田政府委員 これはもう常々やることでありますけれども、そういう大きな問題があれば、そういう問題につきましても、私どもは注意を喚起しております。

○高津委員 著作権法は戦前のものであって、そのよう

な場合に課せられる罰金はわずかに2,000円であります。そうしてまたこれは親告罪になっておるから、外国の出版元や著者が問題にしなければ、法律の上ではそのままに済む関係になっておると思います。そのような2,000円というのでは問題にならないので、360倍にすれば72万円になるのですが、そんなあれどもなきがごとき法規でいい、こう考えておられることになるのですよ、あなたの答弁によれば。著作権法は、このような場合には時代に合うように、ことにそういう洋書の高額版がはんらんしておるような場合には、この法律の改正を考えるべきであろうと思う。

私は東大の水島教授をたずねて、これもそうです、これもそうですとたくさん見せられたのを見たし、そしてそういうカタログがたくさんそこに来ているのを見て、そんなにははんらんしておるのかと驚いたような次第であります。やはりこのような場合には、著作権法を改正して、少し罰則を強めるとか、何らかの手を打つべきではあるまいかと考えますが、あなたの考え並びに文部大臣のお考えを聞きたいと思います。

○福田政府委員 ただ今お話がございましたように、この問題は非常に遺憾な問題でございますが、御承知のように、現在の著作権法の罰則では2,000円以下ということになっております。外国の立法例を見ますと、体刑をつけたような立法例もあるようであります。しかしそういうことは別にいたしまして、何と申しまして、この海賊版の絶無を期する上から、何らかの措置が要るのではないかと私ども考えておりました。御承知のようにこの著作権法の改正の問題はここ2、3年来いろいろ必要に迫られておまして、著作権制度審議会におきましても、著作権法の全面的改正を取り上げてやっております。

従ってそういった著作権法の全面的な改正を行なうような際におきまして、こういう問題も同時に改正するならするというように、はっきり方向をきめまして、将来の改正の場合に十分検討しながらやりたいと考えております。

○高津委員 そのような非合法的な海賊版の横行に対して、極力排除しようと努めておると言われるのでありますが、そしてまた洋書、原書が非常に高いからだ、ということもお答えの中にありましたが、わが国の多く

の研究所や図書館が、図書購入費が非常に少なく、財政的に困っておる、そういうところへ国がうんと補助金をやれば、これらのところもそういうものを買入れなくても済むということになるのではあるまいかと私は考えますが、この点に関する大臣の御所見を承りたいと思います。(傍線筆者、以下同じ)

○灘尾国務大臣 御説の通りだと考えます。本が高い、買う金が少ないという関係で、この問題が起ってくると思いますので、御趣旨につきましては全くその通りだと考えるのであります。図書館その他で書物を購入する経費を充実することをもとより必要だと考えます。財政の許す限り、かような点につきましても考究して参りたいと存じます。

○高津委員 この際お尋ねをしておきますが、文部省あるいは文部大臣に対して、大小さまざまな陳情があるのですが、これは一体どのようにさばいているのでしょうか。しかるべき方から御答弁を聞いておきたいと思います。

○灘尾国務大臣 陳情につきましては、十分これに注意して見なければならぬと思うのであります。私も就任以来各方面からの陳情につきましては、よくその内容に立ち入って検討するようというのを申しておるのでございます。私のところへ参りました陳情につきましては、もちろん関係の局長にこれを渡しまして、私の考えがあればその考えも申しますし、またその内容をそれぞれに応じてよく十分に検討するように始終言っておるわけであります。(以上)

57.10 高津正道代議士との第一回目の懇談と、その人となりの紹介

国会で高津正道代議士が海賊版について質問をし、図書費増額についても意見を述べられたという話を聞き、理事会では相談の上、4月25日、理事一同で高津代議士を議員会館に訪問、懇談した。尚その日の帰途、文部省に太田著作権課長も訪問し、懇談している。

この日に、高津代議士より、3月27日の国会文教委員会における質疑応答の議事録を渡され、始めて全貌が判明した。同氏の話によれば、この問題は、以前から気に

なっていたことだが、直接的には3月22日の毎日新聞夕刊の海賊版に関する記事を見て取り上げることにしたとのこと。そして独自の調査を行い資料を集めた上で質問とした由。

高津代議士という人は、同業会側にとってこの日まで全く未知の人であった。しかしその後も懇談を重ね、翌昭和33年にかけて、議員立法により著作権国内法の一部改正が実現するまで、色々とお世話になった。

所が、この間代議士側から政治献金の要求は全くなく、我々もこれまでのしきたりを固く守って政治献金を全く行わなかった。それでもなおかつ、全然票に結びつかない洋書や海賊版のことを、純粋に国事として扱って何かと配慮をしてくれた。このことをここに特記しておきたい。

同氏の略伝は次の通り。たかつせいどう。1893（明治26年）広島県に生る。真宗の住職となるが、宗教改革を呼び追放される。その後早大文学部哲学科に入学、在学中中学生社会主義運動を起こしたなど、若いときは叛骨精神旺盛であった模様。戦後社会党の創立に参加し、広島3区から当選4回、衆議院副議長までを勤めた。著書、翻訳書が多い。1974（昭和49）年没、80歳。

（続く）

海外ニュース

「アメリカの書籍売上高」

米国出版社協会(AAP)が発表した統計によると、1989年のアメリカの書籍の総売上高は146億6,520万ドルで、前年の132億2,910万ドルから10.9%の伸びを示した。この伸び率は1988年は8.5%であり、また1982年から1989年まで毎年8.3%の割合であったから、1989年は概して好況であったと云える。

とりわけ好調だったのは一般書、いわゆるトレード・ブックスで19.3%も伸びている。その中でも児童書ペーパーバックスは22.6%、成人向ハードバックスは21.8%と大きな伸びを示した。(PW. 3月9日号より)

「東と西のレクラムがひとつに」

1950年に、代々ライプチヒで出版業を営んできたレクラム家は、政治的な理由からその地を離れ、シュト

ウトガルトに新社を設立した。このシュトウトガルトのPhilipp Reclam jun. は、現在、従業員150名で年間売上高210万マルク、年に新刊書100ないし105点、重版書420点を出している今なお家族経営の出版社である。

一方ライプチヒのReclam-Verlag Leipzigは、レクラム家の所有権が21.4%を残して没収され、後には「国営企業」(Betrieb mit staatlicher Beteiligung)として継続されてきた。

このほど分裂以来40年ぶりに両者間の話し合いが行われ、統合に向けて出発することになった。統合と言っても、版權や販売権がからむため簡単ではなく、当初は、双方独立したまま協力するという形でスタートする由。

(Börsenblatt 3月6～19日号より)

文化厚生委員会だより

第55回72会ゴルフコンペ

3月16日半袖でプレイする人もいたほどの暖かい気候のもと、群馬県の関越ハイランドゴルフクラブで55回コンペが行われました。初参加の大八木さん(ユサコ)、原田さん(丸善)、豊泉さん(大洋)に加え、なんとゴルフクラブを握るのは4年ぶりという北村さん(MK)が復活参加、にぎやかなコンペになりました。空振りだけはしたくないという北村さん、最初のホールのティーショットこそミスでしたが先に進むにつれてよく飛び出した。4年のブランクなど信じられない。さてコンペの方はスタートから前回優勝の渡辺さん(洋販)がダッシュよく飛び出し、巧者大野さん(丸善OB)と初優勝を狙う石原さん(医学)が1馬身差でマークの展開。しかし渡辺さんのスピードは落ちずにそのままゴール。終わってみれば2着も大野さんの逃げ先行で決まってしまいました。おしかったのは石原さん、パートナーを優勝させる女神でなく、今回は優勝して下さい。

優勝 渡辺正憲(洋販) 43. 49. Net 76
準優勝 大野 俊(丸善OB) 42. 44. Net 78
3位 池田 優(ユサコ) 50. 48. Net 80

ベスグロ 大野 86

ニアピン 大野

ドラコン 小関、渡辺

(S.W.)

Letters to JBIA

Term : April 1989—March 1990 —その一

昨年度(1989年4月～1990年3月)一年にわたってJBIAに対して、多数の問い合わせが海外出版社より参りました。以下がその発信者と問い合わせの内容の要約です。

一昨年に比べ約4倍の問い合わせで内容も多種多様ですが、特にJBIAダイレクトリーに対する問い合わせが多く、特に広報委員会の尽力によるフランクフルト図書展におけるJBIAメンバーダイレクトリーの配布により、当協会の活動に一段と関心が高まってきたと考えられます。

なお、内容中専門分野や特定の輸入業者を紹介して欲しい旨の問い合わせも数多くありましたが、渉外委員会として立場上輸入業者を特定することはできないので、JBIAダイレクトリーの購入を問合せ先をお願いしていることをご諒承ください。何れにせよ、JBIAの活動が海外出版社に知られるようになってきたことは誠によろこばしいことです。同時にJBIAダイレクトリーのあり方についてあらゆる角度から検討することが必要であることを示唆していることと考えたいと思います。

渉外委員長 山川隆司(ユサコ株式会社)

April 4, 1989

Mr. Frank Foley, Publication Officer

Australian—Japan Research Centre, Canberra, Australia

日本の洋書輸入の市場に関するレポートの編さんを手伝ってくれるとありがたい。

私はMay 1989より日本に行って、フリーのエディターとして働くが、洋書を輸入販売することにも興味を持っている。日本での洋書輸入の現状を教えて欲しい。

May 23, 1989

Mr. Joel Smith, Associate

Alan Wofsy Fine Arts, San Francisco, U. S. A.

JBIAは、日本と西側諸国の文化交流の促進を手助けすると聞いた。私たちはmajorな美術関連書を刊行し、世界中の美術書や美術品のdealerに配給している。そこで日本で西洋美術を扱っているアート・ギャラリーや美術書を扱うdealerたちのリストを送って欲しい。そのようなリストがない場合には、美術関係の協会を紹介して欲

しい。

June 28, 1989

Mr. Michael S. Sanders

Histories & Mysteries of Man Ltd., London

日本のbookshop, wholesaler, distributorのリストを送ってくれるとありがたい。

June 23, 1989

Mr. Stephen Shinn

New Era, Denmark

我々の出版物L. Ron Hubbard's "Dianetics"はフランス語、スペイン語、イタリア語、デンマーク語など19カ国に翻訳されcirculation, 200万部を誇っている。"Dianetics"の販売権、配給、販売、プロモーションについての詳細を知りたいければ、連絡をください。

July 28, 1989

N. S. Agarwal

Lakshmi Publications, India

我々の出版物 "Miracles of Homeopathy" を日本へ輸出したい。興味を持ったなら、オーダーをください。

August 18, 1989

Mr. James Cowan, Australia

私はオーストラリアのnonfiction, fictionを書いている作家である。先頃オーストラリアの原住民についての本を出版した。(日本の)若者が、数多く、オーストラリアにやって来るのを見ると、彼らも原住民に興味があるのではないか、と思う。そこでこの本を、JBIAが出版社として、日本語に訳したり、販売権を得たりすることに興味があるかどうか、お尋ねしたい。また、日本の出版の仕組みについて教えて欲しい。興味がなければ、私は誰に連絡をとれば良いか、教えて欲しい。何分、日本はoutsiderにとって、未知なる国故。

August 23, 1989

Ms. Margit Kreitrer

IRSA Velerlag, GmbH, Austria

IRSAは美術、歴史に関する学術書を専門に出版している。日本の教育機関、大学、図書館 (academic libraries)、学会・協会 (institutions) 等に我々の本を売りたいので、海外からの学術文献 (academic literature) を供給している代表的な会社を教えて欲しい。また、有望な買い手も教えて欲しい。

日付なし。

Mr. Bernard Rafferty

Randon House, London

1989 JBIA Directoryが欲しい。

November 9, 1989

Ms. Mary Stevenson

J. Whitaker & Sons, Ltd., London

1989 JBIA Directoryが欲しい。価格を教えてください。

June 16, 1989

Mr. F. R. Kandie

Commission Agent, Nairobi, Kenya

Kenyaの出版社と輸出の会社を4社紹介する。彼らの本を日本語に訳して刊行して欲しい。興味があれば、連絡をください。

1. Heinemann Educational Book
2. Longman Kenya, Ltd.
3. Oxford University Press
4. Kenya Literature Bureau

November 6, 1989

Ms. Denise Wood

Henderson Publishing, Suffolk, U. K.

1989 JBIA Directoryについて教えて欲しい。(Publishers Newsで見た、とのこと)

November 10, 1989

Mr. Tom Davy, Sales & Marketing Director

Kogan Page, Ltd., London

1989 JBIA Directoryが欲しい。

November 14, 1989

Mr. Christian Maclean

Floris Books, Edinburgh, U. K.

1989 JBIA Directoryについての問合せ

November 14, 1989

Mr. Penelope Gillespie, Export Assistant

Book Data, Middlesex, U. K.

1989 JBIA Directoryについての問合せ

November 23, 1989

Mr. Hilary Donlon, Sales Assistant

Omnibus Press, London

1989 JBIA Directoryについての問合せ

November 22, 1989

Director

Adsek—Macragh Ltd., London

日本の洋書輸入業者と連絡をとりたい。彼らのリストをください。

おしらせ

下記のとおり、社名、住所および代表者が変更になりました。

FEFFER & SIMONS, BAKER & TAYLOR International

フェファー・アンド・サイモンズ,

ベーカー・アンド・テラー・インターナショナル

〒106 港区麻布台1-4-3 フェニックスビル5階

電話：(03)586-8960

FAX：(03)505-5850

後藤明美

パーガモン・プレス・ジャパンは下記のとおり、事務所を移転しました。

マクスウェル・マクラミン・インターナショナルの事務所も同時に、パーガモン・プレス・ジャパン内に移転致します。

新所在地：〒160 東京都新宿区西新宿1-7-1

松岡セントラルビル8階

電話：(03)342-7535 [変更ありません]

FAX：(03)342-7028 [変更ありません]

丸善創業120周年記念事業

世界へ伝えたい。現代の日本を築いた明治の文化遺産。

国立国会図書館所蔵

明治期刊行図書マイクロ版集成



監修委員会：

梅原 猛

(国際日本文化研究センター所長)

福井謙一(基礎化学研究所所長)

京極純一(東京女子大学学長)

出版：丸善株式会社

製作：富士写真フイルム株式会社

仕様：16mmマイクロフィルム

シルバーハライド 約15,000リール

冊子体索引

国立国会図書館の所蔵する明治期刊行図書約12万点・16万冊のマイクロ化事業が、1989年9月よりスタートしました。同図書館の所蔵は、人文、社会、自然、理工・医学の全領域にわたり、明治期全刊本の約7割に相当するものですが、多くの資料は酸性紙の利用、あるいは経年による劣化・損耗の危機にあり、保存対策はまさに焦眉の急にあるとされてきました。

本事業は、国民的財産ともいべきこれらの明治の文化遺産を、総体として後世に継承し、国際図書館連盟の基本理念の一つでもあるユニバーサル・アベイラビリティ（普遍的利用）の促進を目的とするものです。

マイクロ撮影作業については2年有余におよぶ綿密な事前調査と検討を重ね、専用カメラならびにフィルム処理の開発、エンジニアリング思想をベースとした工程管理システムの構築、選り抜かれたマンパワーの動員、そして厳しい成果品検査、等々により、曾てない高品位マイクロ出版物の完成が約束されています。

現代日本の原点に位置し、世界史的にみても特異な時代とされる「明治」。無尽蔵の研究テーマを提起する豊饒の時代に対する本格的・決定的な資料集の出版として、我が国はもとより国際的にも大きな関心が寄せられています。

*お問合せならびに詳細資料のご請求は弊社本店書籍雑誌事業部ニューメディア部までお申しつけください。



本社・日本橋店：〔千103〕東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・渋谷・錦糸町・北千住・取手・土浦・浜松・船橋)・千葉・八王子・松本・大宮・所沢・新潟・札幌・仙台・弘前・盛岡・郡山・茨城・水戸・横浜・名古屋・静岡・岐阜・三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄・ニューヨーク・シカゴ・ロンドン

1990年5月 通巻第277号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329